

やる気と感動

学校だより 6号

平成28年

6月14日(火)

＝ 峡南地区総合体育大会 熱戦を展開 ＝

先週の水曜日・土曜日の二日間にわたり峡南地区総合体育大会が実施され、7つの種目（本校出場の種目）での熱戦が繰り広げられました。三年生にとっては最後の地区大会となります。激励会の中で私は、チームとして最高の集中力・パフォーマンスを発揮するためには、『目の前の一点、今のワンプレーに集中すること』『チーム一丸の全力応援が必要である』と話し、『一つでも多くの部が県大会へ出場し、関東・全国へ駒を進めてくれることを期待する』とエールを送りました。

二日間の大会を終え、優勝二チームと新人戦や選手権と比べると残念な結果となりました。特に野球部・男女バスケットボール部は県大会出場を逃してしまい、本当に悔しい思いをしました。しかしそれぞれの部が精一杯闘った結果です。今までの努力の成果を発揮しようと、最後まで決してあきらめることなく闘い抜いた結果です。3年生には、部活動に対してしっかり向かい合いこれまで取り組んできたことに、ぜひ誇りを持ってほしいと思います。

今後は地区総合体育大会陸上競技へ向けて、また県大会（関東・全国）へ向けて、新チームの始動へ向けて、それぞれ納得のいく活動をしていきましょう。心・技・体を鍛え整えよう!

<総合体育大会の結果>

<u>野 球</u>	Aパート 決勝戦 対 身延中 4-6 惜敗	
<u>バスケットボール</u>	男子 第三位 女子 第三位	
<u>バレーボール</u>	男子 優勝（二勝一敗 得失点差による）	県大会出場
	女子 優勝（予選リーグ全勝、決勝トーナメント準決勝 対増穂中、決勝 対六郷中 勝利）	県大会出場
<u>ソフトテニス</u>	男子 団体第二位 決勝 対身延中 0-2	県大会出場
	個人 若林樹・柴田組 優勝 常田・久保田涼組 第二位	
	若林雄・望月駿組 第三位	県大会出場
	女子 団体第三位 準決勝 対身延中 0-2 三決 対鯉沢中 2-1 勝利	県大会出場
	個人 佐野・望月組 第三位 渡辺・稲葉組	県大会出場

== 伝統になっているいい話 == 圧巻の応援 体育館に響き渡る校歌

『南部中の応援はすごい』と昨年強く感じました。激励会では応援側と選手側に分かれるのですが、練習は文化部と一年生だけでなく最終的には全校生徒で行っていました。応援委員会の3年生は各部の部長や運動部の生徒です。（本来なら応援される側ですが）その指導ぶりは、全校生徒を前にしても体育館に響き渡る大声ときびきびした動作でお手本を示し、女子も含め何人もの先輩が一人でみんなにお手本を示していました。恥ずかしいとか面倒だ等という気持ちは一切なく、後輩に対しやるべき事あるべき姿を身をもって示すことは、先輩後輩の関係でとても大切なことです。（威張る先輩、後輩だけにやらせる先輩とは対極のあるべき姿です。）南部中には良い伝統ができていると感じました。激励会の応援も終盤となり、いよいよ全力校歌。その声の大きさ迫力、全身で表現する校歌は、今まで聴いたことも見たこともない素晴らしいものでした。怒濤の叫び・魂の響きという感じでした。選手も応援もまさに一体となった瞬間でした。

この『全力校歌』を練習前や、大会の会場で歌う部が増えてきました。全力で歌うことで、校歌や学校に誇りを持つようになること、チーム全体の集中力が高まったり、平常心を保てたり、試合会場をホームの雰囲気に行けることなど、数々の効果が期待できます。これも2年生にしっかりと引き継いでほしいものです。